

## 新4K8K衛星放送を視聴するには

新4K8K衛星放送は、現在、市販されている4Kテレビ・4K対応テレビ、8K対応テレビに、今後発売予定の「新4K8K衛星放送」に対応したチューナーなどを追加することで視聴できます。<sup>※1,2</sup>



※1 新4K8K衛星放送は現行の衛星放送とは異なる規格で放送されるため、視聴するためには、新しい規格に対応した受信機(テレビ、チューナー等)が必要になります。その他、右旋・左旋円偏波対応のアンテナ、分配器、分波器、ブースター、ケーブル等に交換が必要な場合があります。

☞ 機器交換について詳しくは、中面の「新4K8K衛星放送を視聴する場合のご注意」をご覧ください。

※2 4K(対応)テレビとチューナー等の接続には、HIGH SPEED(カテゴリ-2)に対応したHDMI®ケーブルをご使用下さい。HDMI®端子は HDCP2.2と4K60Hz入力に対応している必要があります。HDMIは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## 現在ご覧いただける「4K放送」や「4K配信サービス」

### ◆124/128度CS放送(スカパー!プレミアムサービス)



### ◆ケーブルテレビ放送・配信



### ◆インターネット(一例)



●インターネットによる配信サービスには、この他にNetflix、dTVなどがあります。●スカパー!プレミアムサービスの4K受信や、インターネットによる4K配信サービスへの対応は、メーカーや機種によって異なります。●ケーブル4Kの受信にはセットトップボックス(STB)が必要です。●それぞれのサービス視聴には、申し込みまたは別途契約が必要な場合があります。

## 悪質商法にご注意ください!

工業者を装って、新4K8K衛星放送を受信するための費用を不正に請求する悪質商法による被害が起きています。総務省、テレビ局、その他の関係機関がお金を要求することはありません。ご注意ください。

被害にあわないための対処法

- どんな要求をされても、自分の判断でお金は払わない!
- 頼んでいない用件や知らない用件・一方的な用件は、はっきり断りましょう!
- 絶対に部屋に上がらせない!
- 「不審者」と思ったら、110番!



## 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは

新4K8K衛星放送コールセンター (ナビダイヤル: 通話料視聴者負担)

**0570-048-001** ※運用開始は2017年12月1日(金)  
※運用時間は、平日9:00~17:00 (12月29日~1月3日は休み)  
※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

# いよいよ 2018年12月1日 新4K8K衛星放送が始まります!

「新4K8K衛星放送」とは、BS・110度CSで始まる新しい4K・8K放送のことです。

## 数々の魅力的な番組が 高画質 臨場感あふれる映像で楽しめます!

<b>NHK</b> 様々なジャンルを4Kで放送	<b>BS朝日</b>	<b>BS-TBS</b>	<b>BSジャパン</b>	<b>BSフジ</b>	<b>BS日テレ</b> 2019年12月1日開始予定
スポーツ	サイエンス	自然	自然	自然	自然
歴史	音楽	文化	文化	文化	文化
東北新社メディアサービス (有料)	SCサテライト放送	QVC	WOWOW (有料)		
映画・エンターテインメント	ショッピング	ショッピング	総合娯楽		

<b>8K BS</b>	<b>NHK</b> 様々なジャンルを8Kで放送	従来のアンテナで受信可能 (右旋)
スポーツ	美術	対応するアンテナが必要 (左旋)
イベント	イベント	

<b>4K CS110</b>	スカパー・エンターテインメント(8チャンネル) 様々な専門番組を4Kで放送(有料)
ドラマ/時代劇	映画
スポーツ	スポーツ

◆新4K8K衛星放送の開始後も、現在のBS・110度CSおよび地上放送は引き続き提供されます◆



# よくあるご質問

A-PABホームページでは、より詳しい情報をご確認いただけます。  
<http://www.apab.or.jp/4k-8k/faq/>



**Q1** 2018年に始まるBS・110度CSの「新4K8K衛星放送」は今の4Kテレビで見られますか？

**A1** 「新4K8K衛星放送」(BS・110度CSによる4K・8K放送)は、現行の衛星放送とは異なる規格で放送されます。現在、市販されている4Kテレビや4K対応テレビには新4K8K衛星放送の受信機能は搭載されていないため、新4K8K衛星放送をテレビ単体で視聴することはできません。別途、**新4K8K衛星放送に対応したチューナー**などが必要になります。

その他、アンテナ、ブースターなどの機器や配線の交換が必要になることがあります。

詳しくは右ページの「**新4K8K衛星放送を視聴する場合のご注意**」をご覧ください。

**Q2** マンションに住んでいますが、新4K8K衛星放送は見られますか？

**A2** マンションなどの集合住宅で全ての新4K8K衛星放送を見るには、BS・110度CSアンテナやブースターなど共同受信設備を、右旋・左旋に対応する機器へ改修することが必要となる場合があります。

詳しくは共同受信設備を管理しているマンション管理組合や管理会社にお問い合わせください。



**Q3** ケーブルテレビで新4K8K衛星放送は見られますか？

**A3** ケーブルテレビ各局では、新4K8K衛星放送が視聴できるように、準備を進めています。なお、一部のケーブルテレビでは、新4K8K衛星放送の試験放送が4K画質でご覧になれます。

**Q4** 「4Kテレビ」、「4K対応テレビ」とはどのような意味ですか？

**A4** メーカー団体<sup>※1</sup>では、4K対応テレビ、4Kテレビ、8K対応テレビを以下のように決めています。

◆**4K対応テレビ**…現在放送されているデジタルハイビジョン放送を受信でき、かつ外部から入力された4K映像信号を4K本来の画質(水平3840画素、垂直2160画素)で表示できるテレビです。現在、多くのメーカーから市販されています。

◆**4Kテレビ**…4K対応テレビの機能に加え、4K放送をテレビ本体で受信可能<sup>※2</sup>なテレビです。現在、市販されている4Kテレビは124/128度CSの4K放送が受信できるものがあります。

なお、新4K8K衛星放送を受信できる4Kテレビは現在、市販されていません。本放送開始までに市販される予定です。

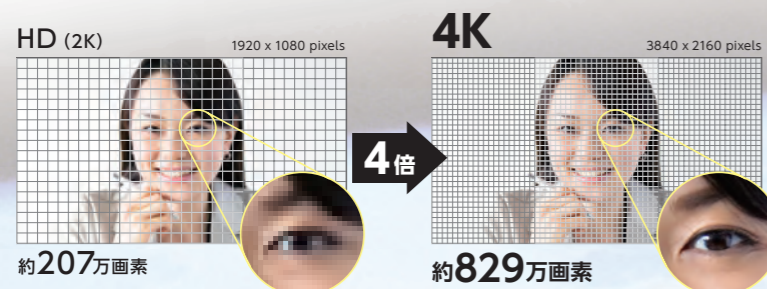
◆**8K対応テレビ**…現在放送されているデジタルハイビジョン放送を受信でき、かつ外部から入力された8K映像信号を8K本来の画質(水平7680画素、垂直4320画素)で表示できるテレビです。

※1: 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)

※2: ここでは、衛星による4K放送、IPTVによる4K放送・配信サービス(ビデオ・オン・デマンド、IP放送、IP再送信)の内、1つ以上の受信機能をテレビ本体に搭載していることを指します。

**Q5** 4Kテレビや4K対応テレビでは、今の放送やブルーレイディスク/DVDもキレイに見えるのですか？

**A5** 今の放送やブルーレイディスク/DVDの映像を、高精細な画像に変換し再生する機能<sup>\*</sup>を搭載した4Kテレビ、4K対応テレビであれば、さらに美しく、細部までより高精細な画質でご覧いただけます。



※「アップコンバート」「超解像技術」等の機能名称で呼ばれます。  
 Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)  
 Blu-ray™(ブルーレイ)  
 Blu-ray Disc Associationの商標です。

# 新4K8K衛星放送を視聴する場合のご注意

新4K8K衛星放送は、**BS・110度CS放送で現在使用されている放送波(右旋円偏波の電波)と、新しい放送波(左旋円偏波の電波)で提供されます。**

(右旋と左旋で提供されるそれぞれの放送は、表面をご覧ください。)

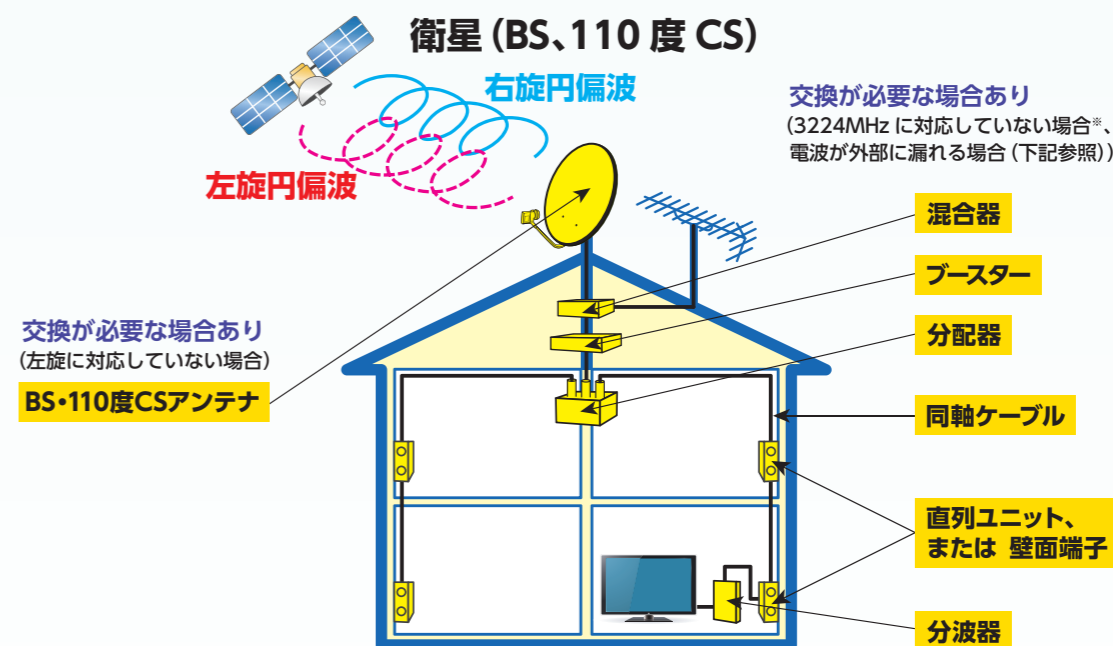
**現在の放送波(右旋)の4K放送のみ視聴する場合**

ほとんどのご家庭で機器交換などは不要です。  
 (現在、放送されているBS放送の全てのチャンネルを受信できていない場合など、機器や配線の交換が必要になることがあります。)

**新しい放送波(左旋)の放送も視聴する場合**

以下の機器交換などが必要になることがあります。

## 戸建ての受信システムの例

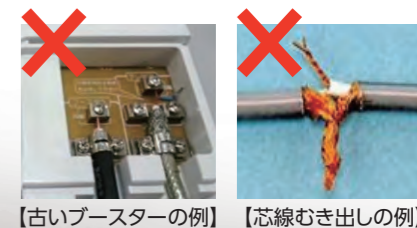


※ 左旋の電波は、BS・110度CSアンテナで受信した後、従来の右旋の信号より高い周波数に変換されて宅内の配線で伝送されます。このため、左旋の放送を視聴するためには、アンテナ交換に加え、高い周波数(2.2GHz~3.2GHz)の信号を伝送できない機器は交換する必要があります。

### 宅内の配線や機器から電波が外部に漏れないよう、適切な機器の使用や工事が重要です。

左旋の電波を受信するアンテナを設置した際、古いブースターや分配器、壁面端子などが使用されていたり、同軸ケーブルの芯線がむき出しになっていると…

- ★ 電波が外部に漏れて、無線LAN等の通信システムに妨害を与えたり、
- ★ 逆に、周囲の電波が入り込んで、新4K8K衛星放送の受信に影響することがあります。



上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。

YouTubeの総務省チャンネルで、新4K8K衛星放送の魅力や、視聴に必要な機器、留意点等をわかりやすく紹介した動画をご覧ください。

<https://youtu.be/VtlzNo5Hhmg>

